

「新潟市みどりの基本計画」

第2次実施計画 実施計画書

令和元年度(改訂)

新潟市 土木部 公園水辺課

新潟市みどりの基本計画 第2次実施計画について

○新潟市みどりの基本計画「第2次実施計画」は、以下の考え方に基づき実施していきます。

1. 第2次実施計画の位置付け



みどりの基本計画(H21年6月策定)

- ・概ね20年間の長期的な展望のもと、みどりの将来像や施策の方向性を示しています。
- ・目指すべきみどりの将来像を実現するため、6つの基本方針と12の方策を掲げています。

第2次実施計画(H27年度～R4年度)

- ・本市の総合計画（にいがた未来ビジョン）の実施期間に合わせ、今後8年間で重点的、集中的に取り組む施策やそれらを推進する取組み、主な事業などを示しています。
- ・変化の激しい社会、経済状況に機敏に対応するため、各年度において取組の検証、改善を行うとともに、本計画を予算編成などと連動させ、重点課題に対し、限られた予算を効果的、効率的に活かしていきます。

2. 第2次実施計画（H27～R4）の考え方

○今後の方針

～既存公園の活用と安全で安心な公園づくりに取り組む8年間～

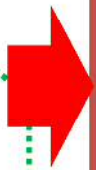
《社会情勢の変化》

- ①人口減少、少子高齢化
- ②厳しい財政状況



《公園緑地行政の課題》

- ③公園施設の老朽化が進み、安全確保が求められている
- ④都市公園面積が10.0㎡/人となったが、市街地の都市公園は3.4㎡/人と少ない
- ⑤多様なニーズへの対応



《今後の考え方》

1. 安全で安心な公園づくりの推進

- 将来負担を見据え、新たな整備から維持管理へ重点を段階的に移行
- 公園施設長寿命化計画に基づく管理を重点的に実施し利用者の安全を確保

2. まちなかの緑の創出、既存ストックの活用

- 行政施設跡地の活用、民間開発時の指導
- 既存公園の有効活用
 - 〔再整備（地域の意見を踏まえたリニューアル）〕
 - 〔他の公共施設等との連携（福祉、観光、防災等）にぎわい創出（イベント開催、飲食店等）〕

3. 自主財源の確保、緑化推進事業の見直し

- ・ 広告料、使用料など
- ・ 効果的・効率的な実施へ向けた制度・要綱等の見直し

3. 第2次実施計画（H27～R4）施策体系表

○各事業は「みどりの基本計画」の6つの基本方針、12の方策に基づき、5つの方向性ごとに分類し、事業を展開していきます。

6つの基本方針	12の方策	みどりの施策		
		対象 (施設)	方向性 (とらえる)	主な事業
1 暮らしを彩る多様な公園の創出・活用	① 都市部を彩る水と緑のネットワークの健全・活用	水辺・公園・緑地	保全	集山・恵那川・庄内・刈田・湖のみどりに関する創出計画
	② 水と緑のネットワークの形成	河川	推進	河川緑地の整備など
2 新居の歴史・個性、魅力を生かす公園づくり	③ みどりによる交流空間づくり	公園緑地	推進	フラワースロード整備事業、公共施設緑化ガイドラインなど
	④ みどりによる生活空間づくり	生活空間	保全	保樹・植樹対策、防犯・防災対策など
3 生活の拠点となる多様な公園・緑地の創出・活用	⑤ 身近な公園・緑地の確保	公園・緑地	推進	生活利便性向上事業、緑地活用促進、緑地活用事業など
	⑥ 緑地のある公園・緑地の創出	公園・緑地	創出	公園・緑地の創出など
4 思いやりを育む多様な公園・緑地の創出・活用	⑦ 公園・緑地の良好な維持管理	公園・緑地	維持管理	公園施設の長寿命化、改善・公園及びランドスケープなど
	⑧ 公園・緑地の良好な維持管理	公園・緑地	維持管理	公園・緑地の整備など
5 安心・安全で環境への配慮に資する公園・緑地の創出・活用	⑨ 災害に強い都市のための公園・緑地の創出・活用	公園・緑地	推進	公園・緑地の整備など
	⑩ 災害にやさしい都市のための公園・緑地の創出・活用	公園・緑地	推進	公園・緑地の整備など
6 市民と協働で進める公園・緑地の創出・活用	⑪ みどりを育てる心を育む	市民	意識啓発	緑化バスター・緑化コンクール公募事業など
	⑫ 市民との協働による公園・緑地の創出・活用	市民	意識啓発	緑化活動推進事業、公園整備委員会など



区分	5つの方向性	内容
増やす	創出	公園・緑地を生み出します
	推進	みどりがあふれるまちを創出するとともに、防災や環境保全機能を強化します
守る	保全	「今あるみどり」を残します
	維持管理	良好な公園・緑地の環境を手入れし、公園・緑地の安全を確保します
広める	意識啓発	みどりを育てる心を育む機会を提供します

みどりの基本計画 第2次実施計画 主な事業(令和元年度～)

創出(活用)

1. きらら西公園（赤塚公園）整備事業
2. 信濃川やすらぎ堤緑地整備事業
3. 白新線公園整備事業
4. 都市公園ストック再編事業



きらら西公園（赤塚公園整備事業）

推進

5. フラワーパートナー事業
6. 公共施設緑化ガイドライン
7. 緑地協定締結の推進及び地区内における生垣等設置補助事業



保存樹



保存樹林

保全

8. 保存樹指定事業
9. アメリカシロヒトリ防除対策事業
10. 松くい虫防除対策事業



フラワーパートナー事業

維持管理

11. 公園施設長寿命化対策支援事業
12. 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
13. 公園施設長寿命化計画策定事業
14. 公園愛護会
15. 公園里親制度（アダプト制度）



公園里親制度（WAZA!）

意識啓発

16. 緑化活動推進事業
17. 萬代橋チューリップフェスティバル
18. 信濃川やすらぎ堤緑地チューリップ植栽事業



萬代橋チューリップフェスティバル



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	増やす
5つの方向性	創出(活用)

1. きらら西公園(赤塚公園)整備事業

西区赤塚地内に位置する赤塚埋立処分地の跡地を活用し、年間を通じ多様な世代が楽しめる満足度の高い公園づくり、集客力の高い公園づくりを目標に「森と花にふれあえるホスピタリティあふれる総合的な公園」をコンセプトに「特徴ある公園緑地」を創出します。

《整備状況》

・公園種別：総合公園

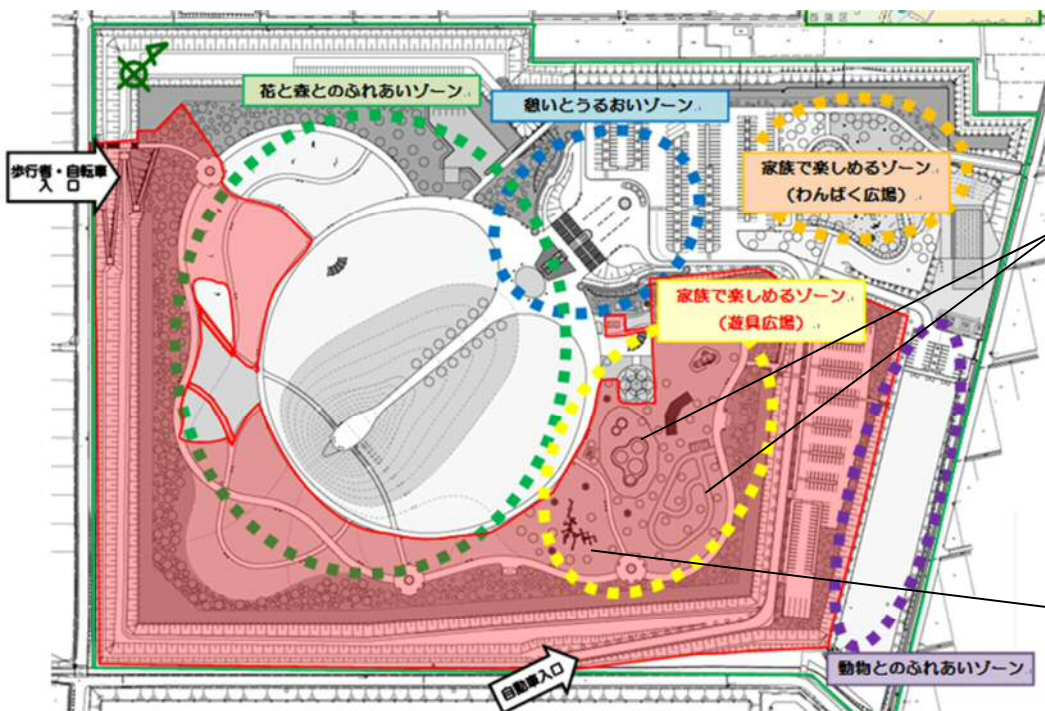
・計画面積：約 23.0ha

平成 22 年度：都市計画決定

平成 23 年度：実施設計

平成 24 年度：公園整備工事着手

平成 29～30 年度：部分的に供用開始（面積約 9.7ha）



赤字箇所が供用エリア
(白地箇所は計画図)

ふわふわドーム



ペダルゴーカート
(遊戯施設)



コンビネーション遊具
(遊戯施設)

実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	増やす
5つの方向性	創出(活用)

2. 信濃川やすらぎ堤緑地整備事業(上所、新光町地区)

まちなかに潤いを与え、水に親しめる貴重なオアシスとして多くの市民や来訪者から利用され、国の重要文化財である萬代橋とともに新潟市を象徴する大切な宝となっている信濃川やすらぎ堤を活用し、地球温暖化対策の一層の推進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する「みどりの保全・創出」とともに「水辺のみどりの保全・活用」も図ります。

《整備状況》

・公園種別：都市緑地

・公園面積：約 0.8ha（上所）

平成 23 年度：実施設計（上所）

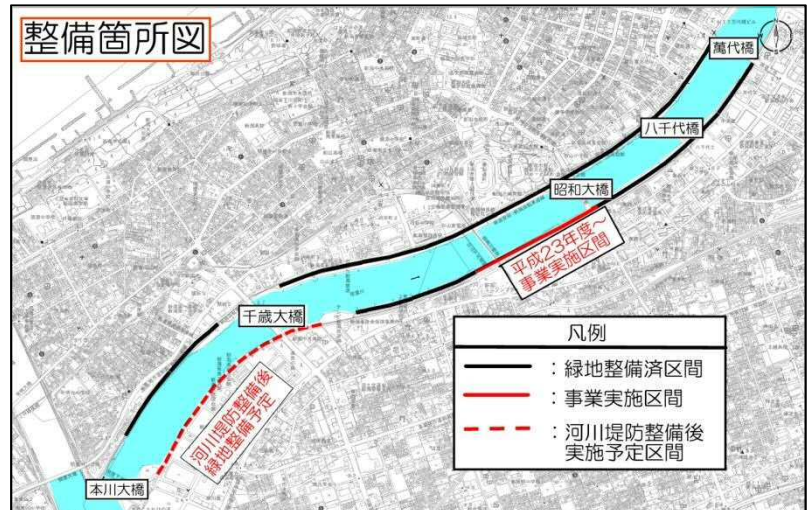
平成 24 年度：国施工耐震工事に伴い、事業を一時中止

平成 26 年度：公園整備着手（上所）

平成 28 年度：基本計画（新光町）

平成 29 年春：全体供用開始（上所）

平成 30 年以降：築堤状況に応じて新光町地区の緑地整備を行う。



整備前(上所地区)



整備後(上所地区)



標準断面図



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	増やす
5つの方向性	創出(活用)

3. 白新線公園整備事業

東区本所地内において、JR 白新線廃線敷を活用し、地球温暖化対策の一層の推進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する「みどりの保全・創出」をします。

《整備状況》

- ・公園種別 : 街区公園
- ・公園面積 : 約 0.6ha
- H26 年度 : 測量、基本計画、実施設計
- H27 年度～ : 公園整備工事着手
- H28～30 年度 : 部分的に供用開始（約 0.35ha）
※整備完了後、一時避難場所として位置付け予定



実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	増やす
5つの方向性	創出(活用)

4. 都市公園ストック再編事業

昨今、人口減少や少子高齢化社会の到来などにより社会情勢が変化する中、公園施設の老朽化の進行や公園利用者ニーズの変化等により、今後多くの公園で施設の改修が必要となっていくことから、都市公園が持つ各種のストック（施設・機能）の検証及び公園周辺地域の特色を踏まえ、各種都市公園の再整備を実施していきます。

《整備方針》

主にまちなかの公園における再整備を行います。具体的には地域のニーズを踏まえ、子育て支援や高齢者支援に資する施設の再編を実施します。

また、再整備にあたっては、将来の維持管理負担を踏まえ、管理しやすい施設整備を行うものとしします。

《実施箇所（R1年度時点）》

・まえわり公園（北区早通北）

（再編イメージ）

子育て支援に資する施設の再編を実施
（工程）

H30年度：地元調整、実施設計

R1年度：再整備工事実施

・信濃公園（中央区信濃町）

（再編イメージ）

子育て支援に資する施設の再編を実施
（工程）

H30年度：地元調整、実施設計

R1～2年度：再整備工事実施

《整備イメージ図》



※国交省 HP (<http://www.mlit.go.jp/common/001298396.pdf>) 「都市公園の再編・集約化の促進」 より抜粋活用

公園の再整備ってなんで行うの？

新潟市の都市公園数は H30 年度末時点で、1400 箇所以上存在し、その内、約 50% 以上が供用から 20 年以上経過している状況です。そのため、多くの公園が、整備当初とは周辺環境も変化しており、利用ニーズの変化が生じております。

そこで、施設の老朽化等に併せ、地域ニーズ（子育て支援や高齢者支援等）にあわせた公園の再整備を実施します。

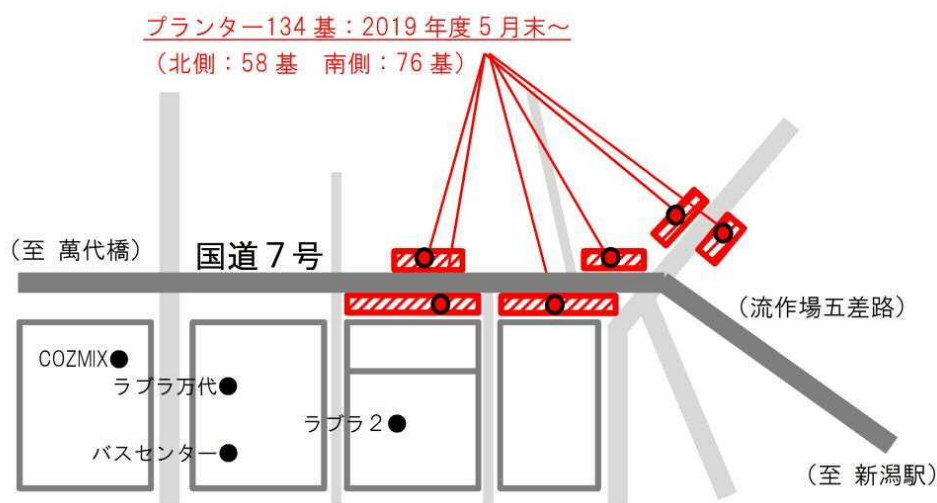
実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	増やす
5つの方向性	推進

5. フラワーパートナー事業

まちなかの市管理プランターを対象に、民間団体から花・みどりを植栽し管理する協力団体（フラワーパートナー）になっていただき、市が団体名をプランターに「みどりの社会貢献紹介版」によって掲示するものです。民間団体ならではの創造性や合理性を活かした植栽を行ってもらうことで、まちなかをより自由に創造性の高い花やみどりの空間を創出することを目指します。

《事業概要》

- 参加資格：原則、構成員が複数で、新潟市内に事務所が存在している「事業者または団体」
- 役割分担：協力団体は花・みどりや肥料等の材料の準備及び購入、除草や補助的な水遣り等
市は「みどりの社会貢献紹介板」の設置、定期的な水遣り管理
- 実施箇所：国道7号（東大通り）の沿線に設置されている市管理のプランターを対象に実施



実施箇所図（R1.5 末時点）



市管理プランター



フラワーパートナー参加後のプランター

実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	増やす
5つの方向性	推進

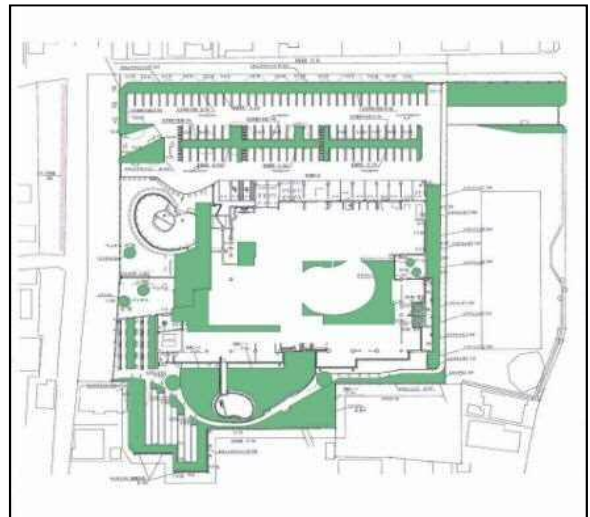
6. 公共施設緑化ガイドライン

公共施設における緑を増やすことを目的に、平成 22 年度に策定した公共施設緑化ガイドラインに基づき、「みどりによる生活空間づくり」を推進します。

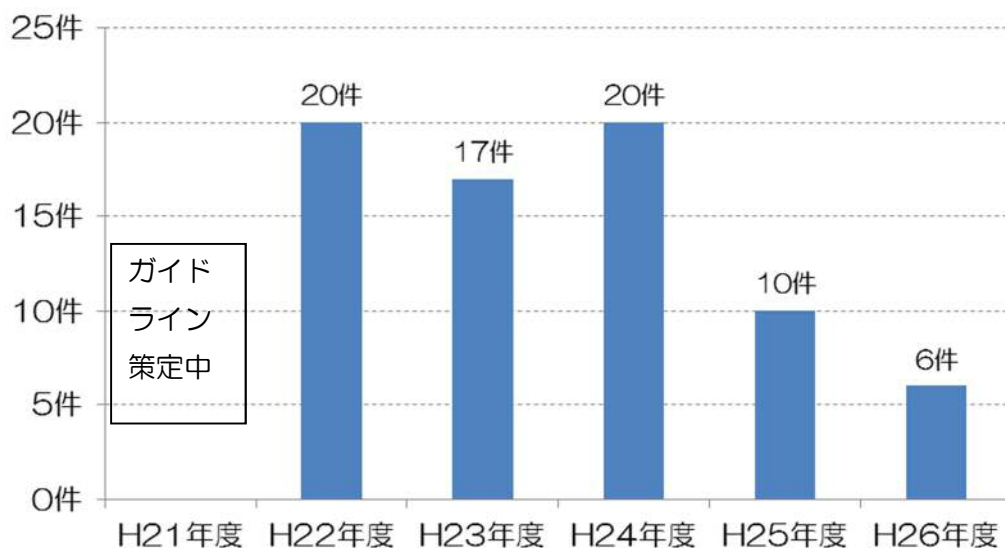
《各公共施設の緑化基準》

施設分類	協議対象条件	緑化率
公共建築物	敷地面積	25%
公園・緑地	1,000 ㎡以上の施設	50%（街区公園・運動公園は 30%）
道路	緑化施設（植栽柵等）を設置する道路	道路構造令に則った上で積極的な緑化に努める

【事例】ほんぽーと中央図書館(中央区) 緑化率 25.3%



【参考】第 1 次実施計画（H21～H26）における協議件数



実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	増やす
5つの方向性	推進

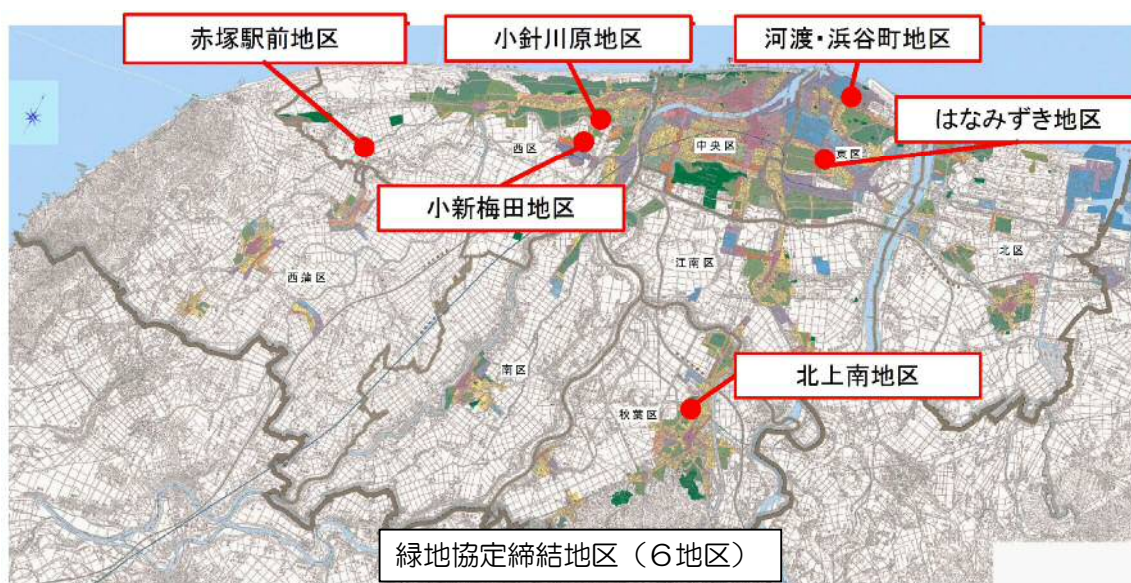
7. 緑地協定締結の推進及び地区内における生垣等設置補助事業

みどり豊かな潤いのある街づくりを形成するため、土地所有者等の全員合意のもとで、民有地における緑化ルール（緑地協定）を策定し、「まちなかの緑を創出」とするとともに「みどりによる生活空間づくり」を推進します。また、緑地協定区域内においては生垣等の設置補助制度がございます。

《緑地協定におけるルール》

緑地協定では、以下の内容を定めなければなりません。

- ①緑地協定の区域
- ②緑地の保全又は緑化に関するルール（樹種・植栽場所等）
- ③緑地協定の有効期間（5年以上 30年未満）
- ④緑地協定に違反した場合の措置



《緑地協定内における生垣設置助成制度》

緑地協定区域内に生垣等を設置する人に対し、費用の一部を補助します。

○補助額について

生垣等の設置、ブロック塀等の取壊しに係る工事費の2分の1 上限額5万円

実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	守る
5つの方向性	保全

8. 保存樹指定事業

良好な緑の自然環境を確保し、美観風致を維持することを目的に、民有樹木を保存樹等として指定し、「みどりによる生活空間づくり」を推進します。

《指定条件（概要）》

- ・幹周り、樹高などが一定以上あり、健全かつ樹容が美観上優れている樹木を所有者の申請により指定し、指定後は、保存樹の保全活動に対する謝礼として、所有者へ報償金を支払うほか、松類の所有者については、松くい虫防除に係る経費の一部を補助。

《報償金の額（年額）》

- 保存樹：5,000 円/本
- 保存樹林（樹木）：10 円/㎡
- 保存樹林（生垣）：150 円/m

《松くい虫防除の補助額》

- 対象経費の2分の1以内
- 松1本あたり5千円まで（上限額10万円）



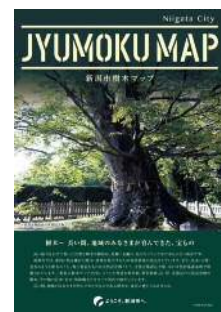
保存樹



保存樹林

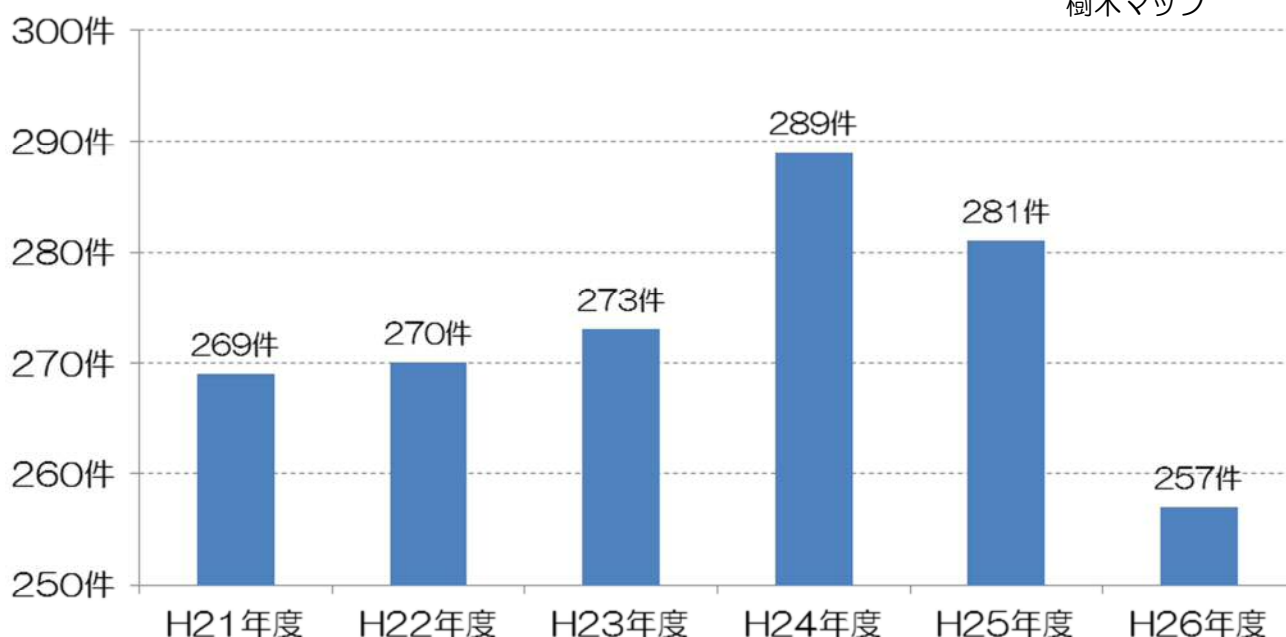
《広報活動》

- 樹木マップを作成し、保存樹等の樹木の魅力を紹介している。
- 保存樹を活用した、緑化啓発活動を定期的に行う。



樹木マップ

【参考】第1次実施計画（H21～H26）における保存樹指定数



実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	守る
5つの方向性	保全

9. アメリカシロヒトリ防除対策事業

公園、道路などの樹木に発生するアメリカシロヒトリの防除を実施し、「公園緑地の良好な維持管理」に努めます。

《公共施設に関する防除》

防除対象：市が管理をしている公園内の樹木、道路の街路樹などの公共施設全般

※指定管理者等が施設を維持管理している場合は除く

防除期間：5月中旬～10月下旬（アメリカシロヒトリの発生時期）

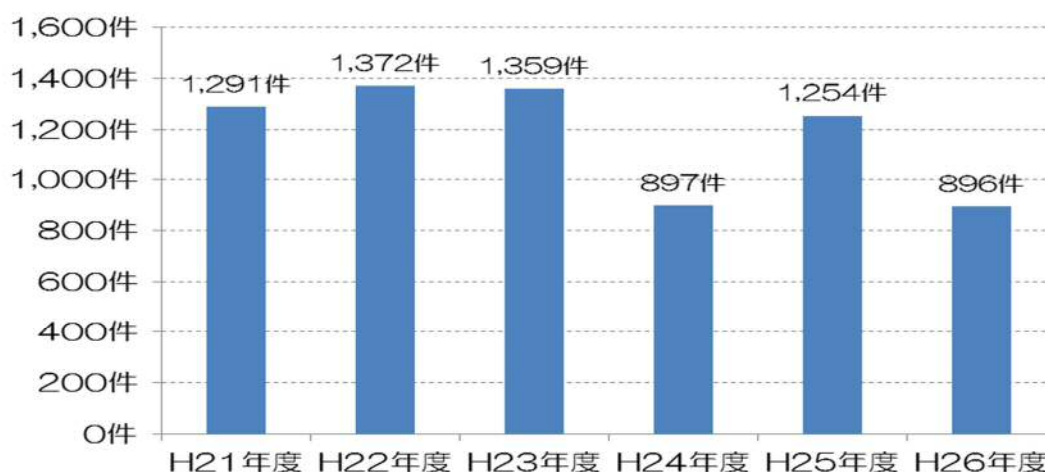
防除方法：①平成 26 年度から 5 月中旬～6月下旬までは、過去にアメリカシロヒトリ等が多く発生した箇所を中心に発生抑制効果の高い予防薬を散布

②アメリカシロヒトリ等が発生した場合、施設管理者からの駆除依頼後、防除を実施

《市民への防除機械の貸出し》

自治会・個人の依頼により防除用の薬剤散布機、高枝切りばさみの貸出しを行っている。

【参考】第 1 次実施計画（H21～H26）における防除件数



アメリカシロヒトリってなに？

サクラを始め、ウメ、モモ、ヤナギなど、多くの樹木につく毛虫で、通常年に 2 回程度発生し、樹木の葉を食べます。また、アメリカシロヒトリは、またたく間に大量発生に至り、被害が拡大するとともに、樹木の周辺に糞害を与えるなど、市民へ多大な不安を与える虫です。



アメリカシロヒトリ

実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	守る
5つの方向性	保全

10. 松くい虫防除対策事業

公園内の松を松くい虫被害から守るため、予防および被害木の適切な処理を行い、「公園緑地の良好な維持管理」に努めます。

《予防方法》

○薬剤散布（カミキリ虫駆除）

方 法：地上からの薬剤散布

時 期：5月～6月頃



薬剤散布状況



樹幹注入状況

○樹幹注入（線虫駆除）

防除方法：松の幹に薬剤注入

時 期：11月～3月頃

【参考】第1次実施計画（H21～26）における防除公園数



松くい虫ってなに？

松くい虫とは病原体（マツノザイセンチュウ）とその運び屋であるカミキリ虫の2つを合わせていいます。

カミキリ虫が羽化する際に病原体がカミキリ虫の体内に侵入します。カミキリ虫は松から松へ移動して松の若枝の皮を食べ、そのかみ傷から病原体が松に侵入して松を枯死させます。



被害樹木

実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	守る
5つの方向性	維持管理

11. 公園施設長寿命化対策支援事業

遊戯施設、建築物・土木構造物などの公園施設を有する都市公園を長寿命化計画に位置付け、予算の範囲内において計画的に改築・更新を実施し、「安全で安心な公園づくり」を推進するとともに「公園緑地の良好な維持管理」に努めます。

《長寿命化計画における施設更新計画数》

一次計画（平成 26～27 年度）対象施設： 108 施設 ⇒ H27 完了

二次計画（平成 28～37 年度）対象施設：1,467 施設 ⇒ 実施中

三次計画（令和元年～10 年度）対象施設：対象施設数精査中 ⇒ 計画策定中

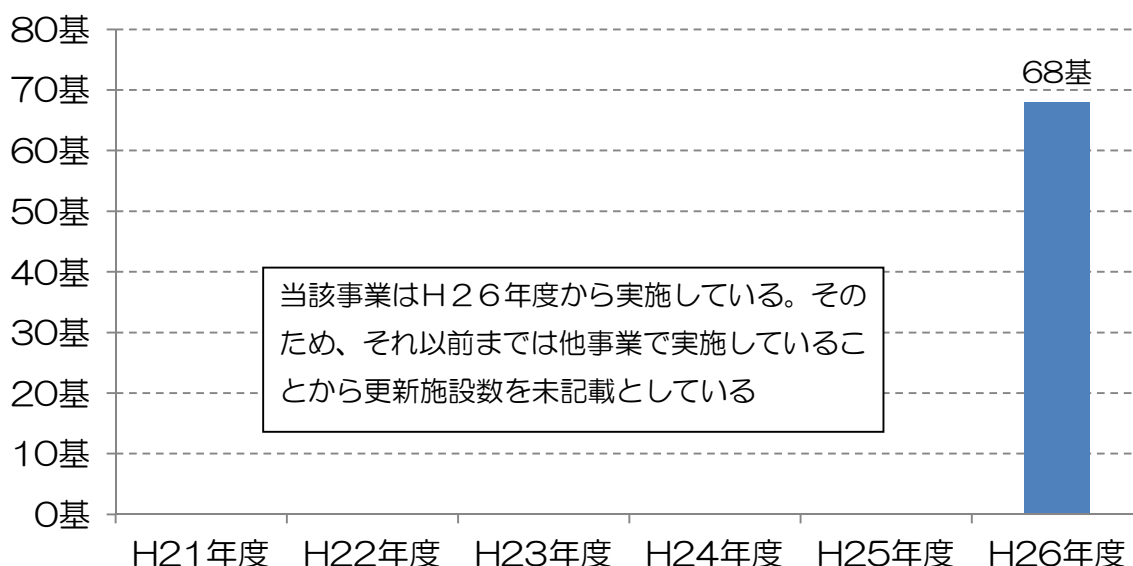


長寿命化計画に基づいた施設更新（シーソー）

【参考】第 1 次実施計画（H21～H26）における更新施設数

※当該事業は H26 年度から実施

※H21～25 年度における施設更新は都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業にて実施。



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	守る
5つの方向性	維持管理

12. 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

大規模地震に備えた市街地の防災性の向上や、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めていくため、トイレ、園路、駐車場などの都市公園施設のバリアフリー化を進め、「安全で安心な公園づくり」を推進するとともに「公園緑地の良好な維持管理」に努めます。

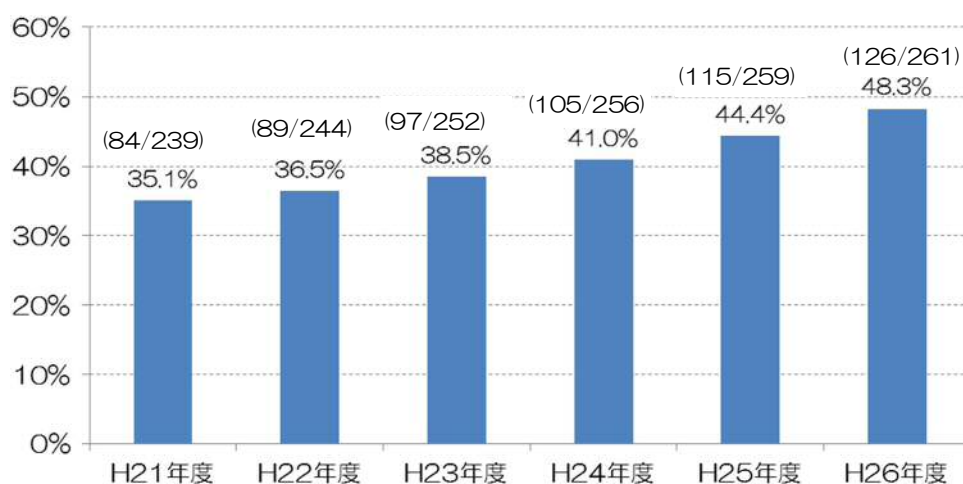


トイレのバリアフリー化



園路のバリアフリー化

【参考】第1次実施計画（H21～H26）におけるバリアフリートイレ設置率
（バリアフリートイレのある都市公園数/トイレのある都市公園数）



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	守る
5つの方向性	維持管理

13. 公園施設長寿命化計画策定事業

公園を誰もが安心・安全に利用できるよう、更新時期を迎える公園施設の安全確保と機能保全を図るとともに維持管理費の縮減や予算の平準化に取り組むための計画を策定し、「安全で安心な公園づくり」を推進し、「公園緑地の良好な維持管理」に努めます。



すべり台



スプリング遊具



ブランコ

年度	取組内容	計画策定状況
平成22年度 ～25年度	専門技術者等により <u>遊具・建築物・土木構造物</u> を対象に健全度調査を実施（なお、職員等による調査も含まれます。）	
平成26年度 平成27年度	調査結果を基に公園施設長寿命化計画（二次計画）を策定作業を実施	<u>公園施設長寿命化計画【一次計画】H26～27年度</u> （特に緊急の改築を 必要な施設のみを対象）
平成28年度 平成29年度	その他施設（園路等の一般施設）の調査を2ha以上の利用者の多い公園にて実施	<u>公園施設長寿命化計画【二次計画】H28～37年度</u> （遊具・建築物・土木構造物 が設置してある全市の公園 が対象）
平成30年度 令和元年度	調査結果を基に、二次計画に施設情報の追加を行う。併せて、計画施設の健全度結果の情報を更新する。	<u>公園施設長寿命化計画【三次計画】R1～10年度（予定）</u> （2ha以上の公園における一 般施設の追加）

本市の公園施設長寿命化計画は、平成 21 年度から「遊具、建築物、土木構造物」を有する都市公園を対象に健全度調査を開始し、早期改築が必要な 108 施設のみを対象とした第一次計画、その他の遊具・建築物・土木構造物を対象とした第二次計画を運用しております。

令和元年度には、計画施設情報の更新を図るとともに、2ha 以上の利用の多い公園における、一般施設（園路や柵等）も位置付けを行うこととしております（第三次計画）。

実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	守る
5つの方向性	維持管理

14. 公園愛護会

市民との協働による「みどりのまちづくり」を進めるため、「市民参画による緑化活動及び維持管理」を推進します。

《概要》

活動組織：自治会、老人クラブなど

活動内容：公園内の除草や清掃

遊具等の施設の故障があった場合の市への連絡

《活動に対する謝礼金》

各公園愛護会へ、年1回公園愛護会協力費を支払う。

基本額：1公園につき 19,000 円

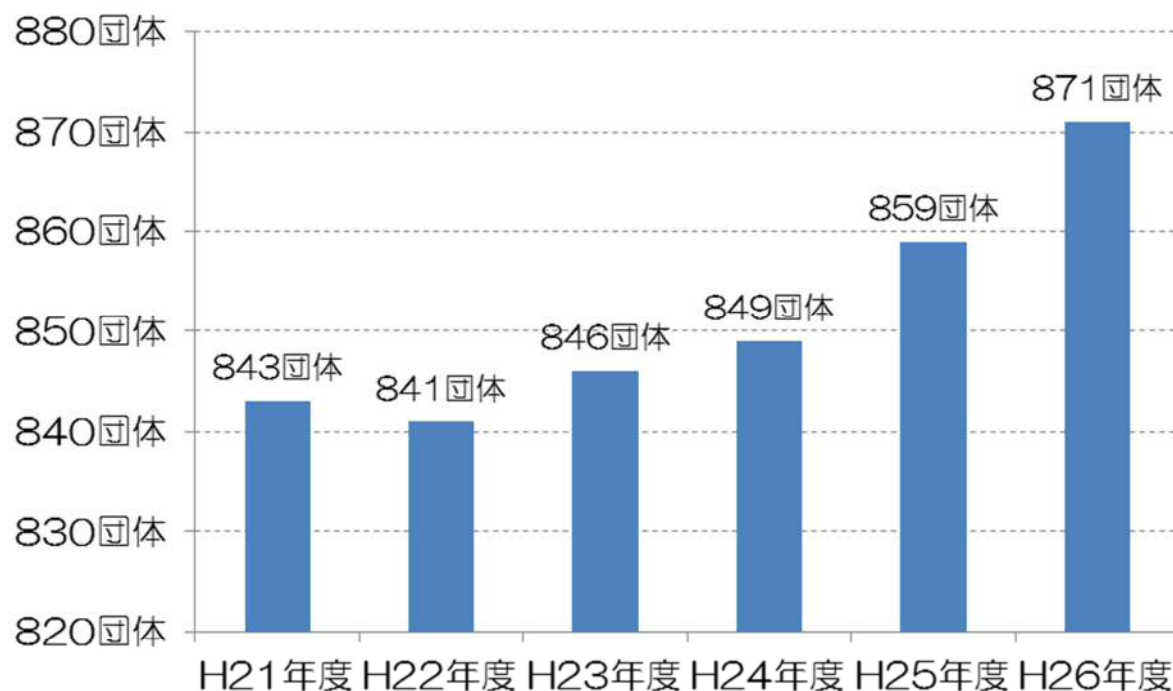
面積割額：100 m²あたり 2,500 円

上限額：基本額＋面積割額 ≤ 200,000 円



愛護会活動の様子

【参考】第1次実施計画（H21～H26）における愛護会登録団体数



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	守る
5つの方向性	維持管理

15. 公園里親制度

市民との協働による「みどりのまちづくり」を進めるため、「市民参画による緑化活動及び維持管理」を推進します。



概要：公園の美化、維持管理に意欲的な市民ボランティアの方々が行う日常管理を支援するもの

支援内容：ゴミ袋などの支給やボランティア保険への加入など

登録団体：WAZA！（専門的技術を生かした活動）

団体：各種団体、企業等

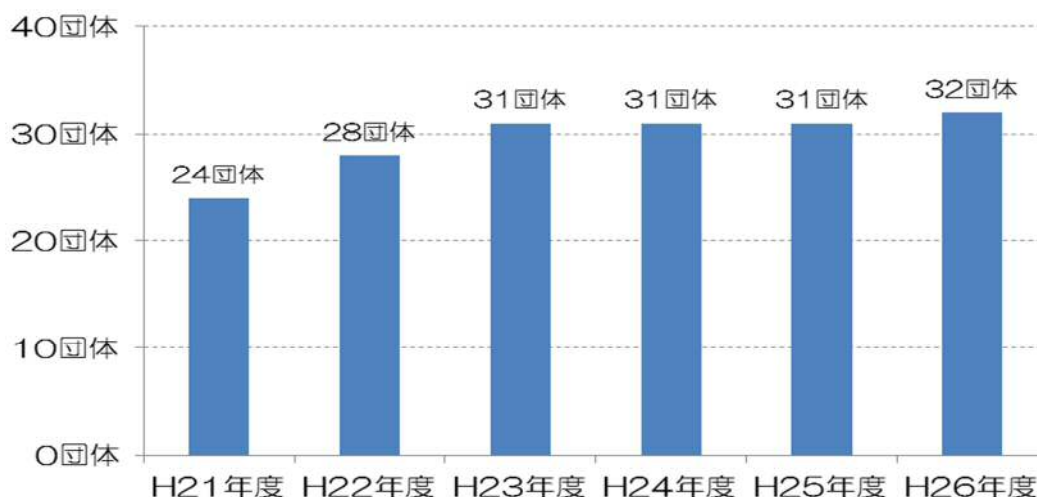
内容：専門的な知識、技術を要する樹木の剪定・枝打ち等

MIDORI！（小中学生の総合学習または特別活動での取り組み）

団体：総合学習などで公園等の美化活動を行ってくれる市内の小中学校

内容：公園内の除草、ごみ拾いなど

【参考】第1次実施計画（H21～H26年）における活動団体数



実施計画の考え方	安全で安心な公園づくりの推進
3つの区分	広める
5つの方向性	意識啓発

16. 緑化活動推進事業

地域で緑化活動を主体的に行う自治会等に対し、かかる費用の補助を行うことで、その活動を支援し、みどり豊かなまちづくりを推進する



浜谷公園（東区）

助成対象者：緑化活動を行う団体などで、原則として概ね5人以上で組織されるグループ

助成内容：花苗・植物の種・球根について対象経費を助成する

助成額：1団体当たり50,000円（上限額）

【参考】第1次実施計画（H21～H26）における緑化活動団体数



実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	広める
5つの方向性	意識啓発

17. 萬代橋チューリップフェスティバル

公園緑地が不足している「まちなか」に市民が育てた「チューリップ」を本市のシンボルである「萬代橋」とその周辺に飾り、「まちなかの緑の創出」を推進するとともに「みどりを守り育てる心」を育みます。

《チューリップフェスティバル》

実施期間：4月中旬～5月上旬

実施場所：萬代橋周辺両側歩道

参加者数：毎年約400の団体・個人

主な参加者は幼稚園・保育園・小学校等の園児や生徒



チューリップフェスティバル
期間中の萬代橋

《オープニングセレモニー》

チューリップフェスティバル開催初日に実施

時 期：4月中旬

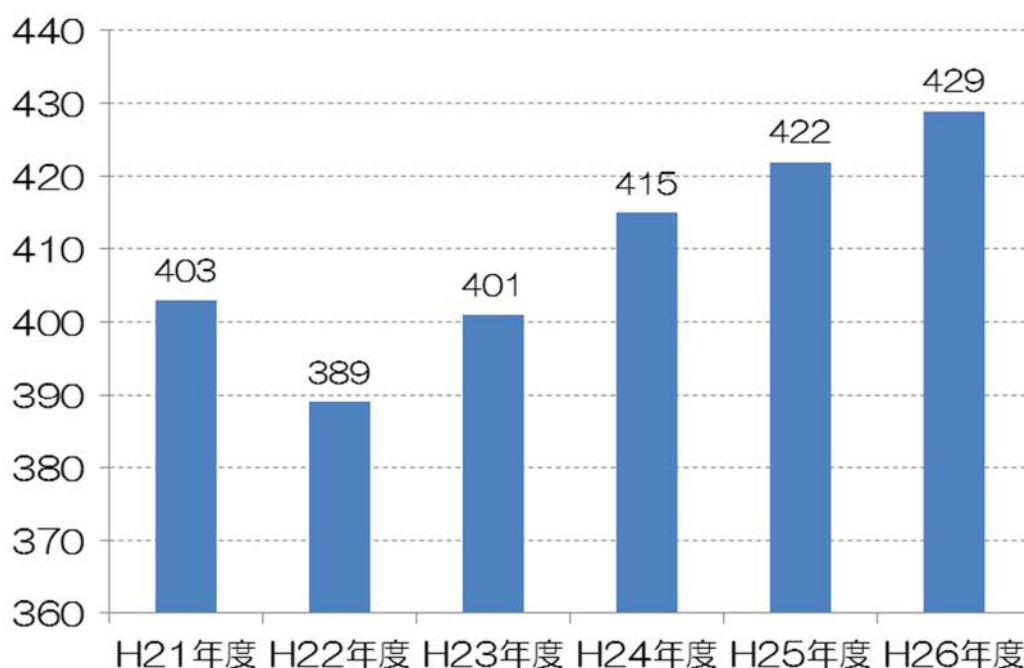
実施場所：萬代橋西詰

実施内容：園児による「チューリップ」の歌合唱、
キッズパレード



オープニングセレモニー
(キッズパレード風景)

【参考】第1次実施計画（H21～H26）における参加者数（個人・団体含む）



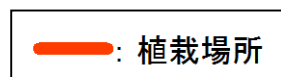
実施計画の考え方	まちなかの緑の創出、既存ストックの活用
3つの区分	広める
5つの方向性	意識啓発

18. 信濃川やすらぎ堤緑地チューリップ植栽事業

幅広い世代の緑化意識の向上を図るため、信濃川やすらぎ堤緑地にて周辺の小中学校、自治会などと協働で市の花チューリップを植栽し、「まちなかの緑の創出」を推進するとともに「みどりを守り育てる心」を育みます。



《チューリップ植栽箇所》



※R1年度予定箇所

参加団体

小学校：白山、鏡淵、南万代、上所、上山、有明台、万代長嶺、浜浦小学校
 中学校：白新、鳥屋野、宮浦中学校
 自治会：幸西町内会、上所第二自治会、関新二丁目町内会、
 コープ野村川端町町内会、関屋大川前四区自治会、

【参考】第1次実施計画（H21～H26）における参加人数

